



東京藝術大学美術学部絵画科

# 日本画

Tokyo university of the Arts

Japanese Paintings



## 美術学部 アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

美術学部では、130年の歴史のなかで美術の各分野において時代を代表する作家、研究者教育者を輩出してきました。本学部はこうした伝統のなかで培われた創造性を身につけ、新たな時代に対応し、優れたオリジナリティを発揮できる人材の育成を目的としています。本学部で学ぶ学生には、歴史のなかで蓄積された技芸と知識を修得し、さらにその成果を革新し、発展させ、広く世界の文化と社会のために貢献する能力が望されます。

こうした理念を踏まえ、真摯な姿勢で教員とともに研鑽を積み、美術の世界に豊かな収穫をもたらす学生を広く求めています。



## 教員（2021年度現在）

齋藤 典彦 教授	松岡 歩 テクニカルインストラクター
古村 誠司 教授	長澤 耕平 テクニカルインストラクター
植田 一穂 教授	川崎 麻央 テクニカルインストラクター
海老 洋 准教授	伊東 春香 教育研究助手
宮北 千織 准教授	山田 雄貴 教育研究助手
高島 圭史 准教授	澤崎 華子 教育研究助手
森 友紀恵 教育研究助手	
石原 孟 助教	杉山 佳 教育研究助手
	岩谷 覧太 教育研究助手
	古山 結 教育研究助手



## 日本画の入試について

東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻の入試選抜は、大学入学共通テスト、本学が実施する実技試験、出身学校長から提出された調査書の各資料を総合的に判断し合格者を決定します。実技試験は一次入試として「鉛筆素描」を行い、一次入試合格者のみに、二次入試「着彩写生」を課します。詳細については今後(11月)発行する『東京藝術大学学生募集要項』、または藝大HP(ホームページ: [www.geidai.ac.jp](http://www.geidai.ac.jp))の更新情報を確認してください。



## 日本画の出題について (2021年度)



### ● 学部入試 一次入試 出題 (12時間)

二日間で鉛筆素描一枚を完成させなさい。

※但し、石膏像は二体とも描くこと。

一日目 9:00~12:00 12:30~15:30

二日目 9:00~12:00 12:30~15:30



- ・床置きされた大型の半身像2体とそれらをつなぐビニールホースにより、空間観察能力及び、造形感覚をはかる。なかでも、構成力や、基礎的な描写力を判断することを目的とする。また、フラットな面の多い半身像を使用することで、微妙な陰影の中で正確な色柄の把握と、その表現能力を見る。



### ● 学部入試 二次入試 出題 (12時間)

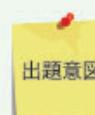
着彩写生：以下、すべてのモチーフを構成して着彩写生すること。

- ・ビニール傘×1 ・ジョウロ(水入り)×1
- ・ヤツデ(大)×1、(小)×1 ・ホース×1 ・石
- ・玉ねぎ(茶)×2、(紫)×3
- ・バット×1 ・印刷物(A3)×1、(B4)×1

※ビニール傘は閉じないこと。  
※印刷物は折り曲げないこと。

一日目 9:00~12:00 12:30~15:30

二日目 9:00~12:00 12:30~15:30



- ・画面よりも大きい透明ビニール傘を出題することにより、空間認識と形態把握能力をみる。
- ・またモチーフの大小関係、平面状の位置関係を含めた効果的な構図や絵画性について判断する。
- ・同様に、紫たまねぎと緑のヤツデ、水差しという補色に近いモチーフにより、明度や彩度の把握や色彩感覚についても判断する。



## カリキュラムについて

日本画科は作家及び美術に関わる諸分野での指導的人材の養成を目標としています。これを実現するために本科における研究教育は現代絵画としての創造性の追求と同時に、わが国の美術の伝統と精神を継承し、これを発展させることを主軸に据えています。

主な授業科目としては、人物・風景・静物・動植物画、版画・壁画の創作、古典模写、人物素描、材料研究、古美術研究旅行、写生旅行等があり、課題別に定められた期間で履修していきます。

学部においては、1・2 学年を基礎課程と位置づけ、伝統的な技法の修得と造形・表現力を養うことを目指します。3 学年以降の発展課程では、自由課題を主に前述の事項をさらに前進させ、最終の4 学年では集大成となる大作を制作し卒業制作展で発表します。



学部3年在学  
中島 舞

### 在学生からの メッセージ

大学では、講評会などで先生方から古典的な考え方などを学びつつ、同級生の新鮮な感性を近くで感じる事ができます。アカデミックな部分もほどほどに抑えつつ、自分の感性を育てる事を大切にしています。ここまで一つのことを時間をかけ探究する事ができるのは学生期間ならではで、価値があります。

そして、東京という土地柄もあり、志を持った人間が集まってくれると思っていて、その人々の熱量にはとても影響を受けました。狭い世界だと錯覚しがちですが、自分さえ動けば媒体に囚われず様々な世界に目を向けることが出来る環境で、作品を作る身としてはとても魅力を感じています。

入ればエスカレーター式に何かになれるという場所では無いですが、その何かを目指す為の基盤にはなってくれると思います。考え方次第では自由に自分の作品を育てられる場所です。私も、自分にとって価値のある作品を探していくら良いなと思っています。



2021 年 課題作品 人物制作 50 号「迷いの森」



アトリエ 制作風景



百合制作 研究会



菊制作



鉛丹果絵模写



学部4年在学  
高盛 大輔

在学生からの  
メッセージ

新型コロナウイルスの流行で外出が困難だったため、学部3年の一年間は自宅で制作をしていました。1人で制作している期間、普段とは違うので、集中できなかったり、モチーフ探しに難航したり、自分の作品を客観的に見れなかったり、慣れない状況下での制作がなかなか大変でした。

1人で作業するのは精神的にもしんどかったりしました。単調な毎日の繰り返しになりがちで、絵を描くモチベーションのためには、少なくとも絵を見てくれる人が必要で、そのために人と関わっていくことが必要なんだと思いました。

大学は絵を描きやすい環境や、絵を見てもらえる環境が整っていてとても制作しやすいです。しかし大学をでたあとはまた1人で制作していくことになると思うので、それを一足先に経験できたコロナ禍の学部3年はいい1年間だったなと思います。



2020年 課題作品 自由制作50号「no title」



## 日本画 年間カリキュラム

### 【前期】

月	4月	5月	6月	7月	7/31~8/30
1年	植物(百合)	植物(葦)	隨身庭園絵巻 模写	動物制作 50号	
2年	絵図果核 模写	東北写生旅行	風景制作 50号	人物制作 50号	
3年	額画・壁画 集中講義	人物制作 50号	風景制作 50号	自由制作 50号	
4年	白画像 15号	自由制作 100号程度	自由制作 100号以上		夏期休業

### 【後期】

月	10月	11月	12月	1月	
1年	静物制作 30号	人物制作 50号	風景制作 50号	白画像制作(副本) 15号	
2年	源氏物語絵巻 模写	自由制作 50号	風景制作(建造物) 50号	自由制作(副本) 30号程度	
3年	自由制作	古美術研究旅行 (奈良・京都)	自由制作	自由制作	
4年	卒業制作			自由制作	卒業制作展

### 【材料講義】

・絵具講義	・箔講義 (平押し)	・絵画講義
・筆講義	・箔講義 (切金・糸子)	等
・和紙講義	・裏打ち講義 (模写)	
・刷本講義	・裏打ち講義 (刷本)	
・日本画材料講義	・裏打ち講義 (150号)	



東北写生旅行



古美術研究旅行



和紙講義



卒業制作 創作風景



修了制作 創作風景



卒業制作風景



卒業制作展 搬入



修士1年在学  
堀田 紅音



学部4年次のスタートはコロナ禍真っ只中で、外出や人に会うこともできない状態でした。家に1人いる時間が長くなりましたが、自分は美術を学んでいて良かった、絵を描いていて良かったと改めて思いました。美術はものの見方や捉え方を描げます。また、熱中できる何かがあることは幸せなことで、大学生活というのもとても貴重な時間なのだと感じました。卒業制作は1つの区切り、通過点として今の自分にできることを精一杯やろうと取り組みました。構想段階では本当にこれでいいのか、もっと良くできるのではないかと長い時間悩んで何度もやり直しました。気分転換には構内の図書館によく行っています。芸大の図書館は町の図書館と違ってあらゆる分野の美術書や図録、絶版になっている本などがたくさん置いてあります。また、今は休館が多いですが以前は上野公園の博物館や美術館も行っていました。芸大は美術を学ぶ環境としてとても恵まれている場所だと思います。



2020年 卒業制作 150号 「絵のはなし」



## 進路について

研究を深めるため、大学院修士課程へ進学する学生が多いですが、教職に就く者、就職を希望する者、様々です。

将来的には作家として個展・公募展・グループ展等で自作品を発表し、美術界の第一線で活躍している者、小中高等学校、国内外の美術・教育系大学の教員、美術予備校などの講師に採用される者も多数います。また近年、国費留学・私費留学生として海外へ留学する者も多くなっています。

### 卒業後の進路先

日本画家	保存修復関連
国立印刷局	漫画家
サイバーエージェント	ポリフォニー・デジタル
本学教育研究助手	QLUTCH
公立・私立美術系大学教員	宝塚舞台
公立・私立 高等学校・中学校教員	ムーンバット
国立美術・教育系大学教員	カイカイキキ
美術系予備校 職員・講師	小津商店
美術館・博物館 学芸員	アイテック工房

オリエンタルランド	等
NHK エデュケーション	
コナミ	
チームラボ	
凸版印刷	
任天堂	
フロムソフトウェア	
三松	



## 卒業生からのメッセージ



### 日本画家

喜多 祥泰  
Kita Yoshihiro



大学で学ぶ日本画の延長線上で活動しているので、少しお伝えしたいと思います。まず、学会にあたる公募展のひとつである創画展への出品では、新しい日本絵画の可能性を模索しています。

また作家活動では百貨店での個展を重ね、現代絵画の在り方を考え、祭事にまつわる作品の制作をしています。沖縄芸大教員としては、立地上、アジアの文化的な一体発展に取り組めないかと努めています。

それぞれの活動は、学生時代未熟ながらも落ち着いて制作に取り組んできた結果です。とはいえる全くの劣等生でしたが、ここでひとつ言えるのは、東京藝大日本画が備えもつ歴史・人・場の磁力のようなものに共鳴し、様々な出会いがあったことです。それらは私の財産となり生きていると思います。私の場合、日本画を大学で学び得たのは、その後の長い人生を自身で考えていく物差しのようなものだったかもしれません。

皆様の努力が結実し制作が発展することをお祈り申し上げます。



### 株式会社カラーデジタル部 3DCG アーティスト

齋藤 弘光  
Saito Hiromitsu

私の職場では1つのセクションだけにとどまらず様々な仕事を担当します。実際私もデザイン、コンセプトアート、美術、CGモデリング、CGテクスチャなどを担当しました。自分が得意とする物だけではなく様々な仕事をするのは大変ですが、スクリーンで映像が流れるのを見たり、映像を見てくれたお客様の反応を見ると今までの苦労は忘れ、次ももっといい作品にしようと思えるやりがいのある仕事です。

私は多浪していたのでアニメーションの世界に挑戦したのは30歳になる年で、正直この年齢から始めるのはもう遅いのではないかと躊躇していました。もしこの時挑戦を諦めていたら、今とても後悔していると思います。藝大生の中には私と同じように多浪している人もいると思います。もし私と同じように新しい事に挑戦する事を躊躇している人がいたら、人生で今が一番若い時なんだし後悔しないように生きて欲しいと思います。私もこれからも挑戦し続けます。一緒に頑張りましょう。



### NHK 映像デザイナー

塙崎 安奈  
Tukasaki Anna

学部卒業後、NHKの映像デザイン部に就職しました。主にテレビのセットデザインを始め、グラフィック、小道具作り、衣装やキャラクター制作等に関わっています。

私のいる部署には美大出身者が多く在籍しており、何かを作る時に一旦スケッチをしてからPCでのデジタル作業に入る方が多いです。私自身も案を練るためにまず最初にスケッチをして頭を整理しています。

映像デザイン部は若手が活躍する職場であり、3年目からは1人で業務を任せられるようになります。芸大日本画で培ったデッサン力や、個々が集中して自分の課題をやり遂げる姿勢等が現在の仕事につながっていると感じています。何より、豊かな環境に身を置くことで得た感性が、仕事にも趣味にも生かされていると実感する毎日です。



お風呂頂きます